

『あの、パパ……そ、その……』

『お、どうしたもや』

『えと、し、試験の事なんだけど……ま、また落ちちゃつて……』

『……またか』

『それで、お前は どうしたんだ？』

『で、できれば
また来年も受験したい……です……』

『受験料も安くはないんだ
お前がそのつもりなら
パパも頑張つて稼ぐ
またお前の勉強も手伝つてあげよう』

『あ、ありがとうパパ……ッ』

『まあお金の事はパパに
まかせておきなさい
パパも手伝つてあげるから
お前も頑張るんだぞ』

『うん……ッ』

『それじゃあまず』



『反省会ッ』

『え、えと……もやは……
試験に落ちちゃって……』

『パパの期待を裏切ってしまった……♡』

『胸はっ
かなり大きくなって
行くべきところに栄養が
いってないのかな？』

『む、胸はっ
ま、毎日パパが吸うからだよっ
乳首ばかり……♡』

むちっ

『ほら、ちゃんと反省しながら
自分で入れなさい』

『はい……♡』

『パパッみんな、
こんなダメダメな娘で
ごめんなさいッ♡』

むわあ……

ぽとっ
はぁん♡

「なんだお前もうこんなに
濡れてるじゃないか」

「ごめんなさいっ♡
ごめんなさいっ♡」

「まったくこれじゃ反省会なのか
ご褒美なのかわからないじゃないか」

「ごめんなさいっ♡
ごめんなさいっ♡
パパに叱られるの期待して
発情しちゃってごめんなさいっ♡」

「しっかり反省しながらまんこ
締めなさいっ♡」

「めちゃマン♡」

「ごめんなさいっ♡...♡」

こうして試験に向けた
勉強がはじまった



『おかえりもや
今日も勉強頑張ってきたかい』

『うんッ』

『よしえらいぞ〜』



『パパも準備できてたからね
パパの我慢汁もまとめて体に
染み込ませなさい』



『くぅ〜こんなくちマンコで
吸い付きおって、さすがはうちの娘だ
尿道に残ったのもすべて吸い出しなさい』





「ハハ、いくよ」

「ああ、きなさい」

「ほれ、明日は休みだろう
今日は朝までするぞお
徹夜で勉強ッ♡」

おちゅん
おちゅん

ほちゅん
ほちゅん

ほちゅん
ほちゅん

おちゅん
おちゅん

『パパあ♡
また射精そり？♡
もやのおくまで
自いのビュッてっ♡』

『13、14発目か
まだまだ射精るぞっ!!』

『イク時は、白いのでうって
ゆってね♡
もやもおまんこギューってすう♡』

『おうう〜♡
まんこ締め付けて
全部しぼりとろうとしてるな』

『まんこのうねりだけで
また勃ってきちまう』

『こりや今年は
受かるぞもや』



試験当日……
八雲もや
不合格……















